



お兄

ちゃん

切

ないの

淫香のぬくもり

まひるの影郎

成年
コミック

淫香のぬくもり

お兄

ちゃん

切
ないの

まひるの影郎



Contents

169 005

お兄ちゃん切ないの
姪っ子しゃぶり

168

.....あとながき





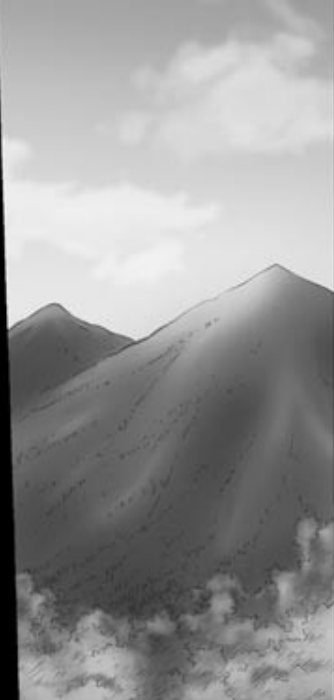
あっ!!



やーい
やーい
やーい

めかけ
妾の子ー
妾の子ー

くらえ
泥ダング
攻撃ーッ



うん…
ありがとう
お兄ちゃん

咲子
大丈夫か?



きやはは

あははは



…ったく
あいっら

いつも
いつも…

お兄ちゃん切ないの



こらーッ

うわっ
妾の兄キだ!!

逃げろー!!



…うん

汚れ
ちやったな…

家で見つかったら
怒られるし…

川で洗おうか

うん

……

どうした？
早く脱いで
洗っちゃえよ

うん…でも

…恥ずかしい

人が来ないから
見張ってるから

急いでな

え…!?

そうか…

俺も脱ぐよ
それで恥ずかしく
ないだろ？

ぬき〜

お兄ちゃん…

…じゃあ







俺の家は数百年
代々続く酒造会社で
長男は家業を継ぐのが
当たり前だった

俺はそのための勉強をし
仕事を覚える日々



生まれた時から
すべてが決まっていた



咲子は父親の
妾の子で

咲子の母親は
咲子が幼いころに
亡くなった



咲子はうちで
引き取るようになったが

学校こそ行かせて
もらえていたが
立場は女中と
変わらなかった



俺たちは
同じ家にいながら

ほとんど
喋ることも
できない



自由に自由は…ない

でも外なら…

ミミ…

ミミ…



よお
咲子

学校は
どうだ？

大丈夫

からかわれ
たりは？

してないよ

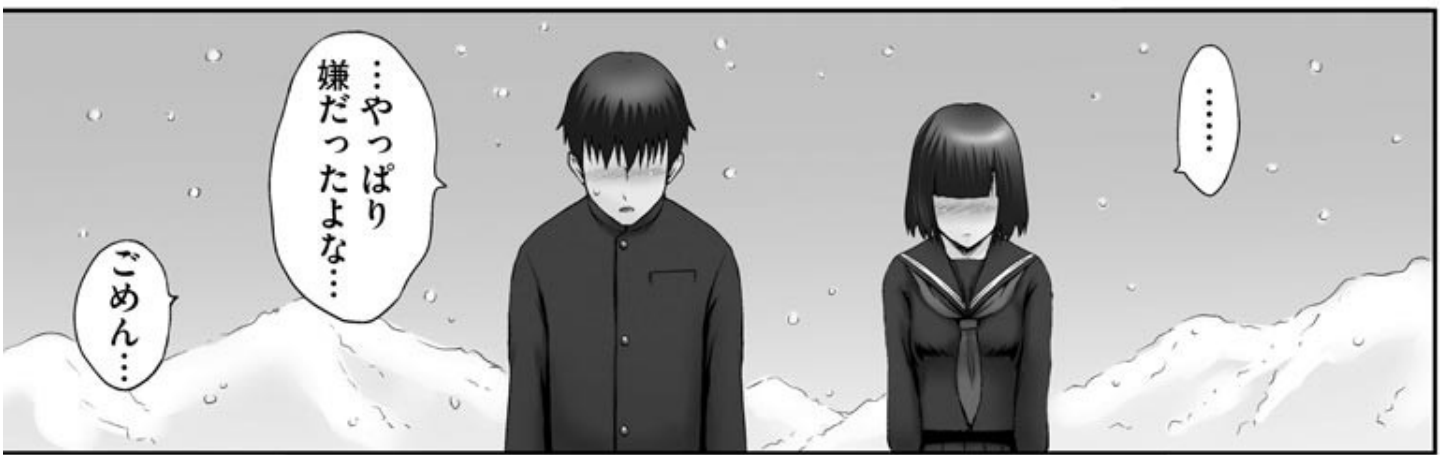
おかえり

お兄ちゃん
どうしたの！？

いや…
家じやなかなか
喋れないから

…そうか







それに胸も……

ふわふわ



昔よりも
ずっと

柔らかくて
いい匂い……



お兄……ちゃん

咲子の身体……
からだ











ずっと…
咲子とひとつに
なりたかった

お兄ちゃん



ずっと
繋がって
いたい

ああっ…
お兄ちゃん

止まら
ないッ

咲子
いいッ

すごい
気持ちいいッ

咲子ッ

お兄ちゃんっ





二月十日…ふたりの誕生日



俺たちは家を抜け出し
その日ここに来る



偶然にも
同じ誕生日に
なった

俺たち兄妹の
約束

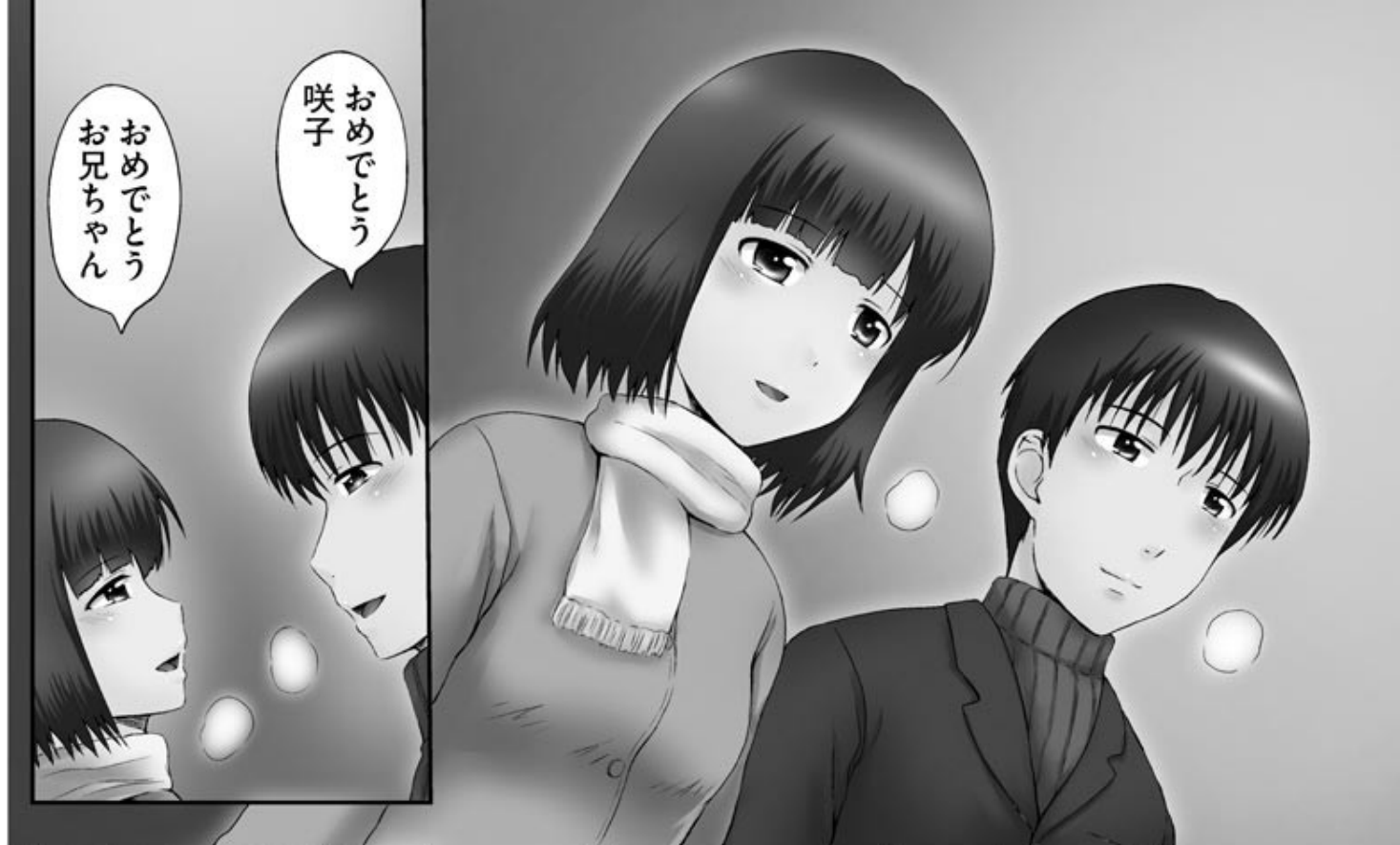


毎年ここで
お互いを祝うこと

プレゼント交換を
すること



そして
いつの日か…





















お兄ちゃん



すごいおつ
感じるよおつ

咲子





お兄ちゃんツ

ズ

ズ



咲子...

咲子...



ハッ

ハッ

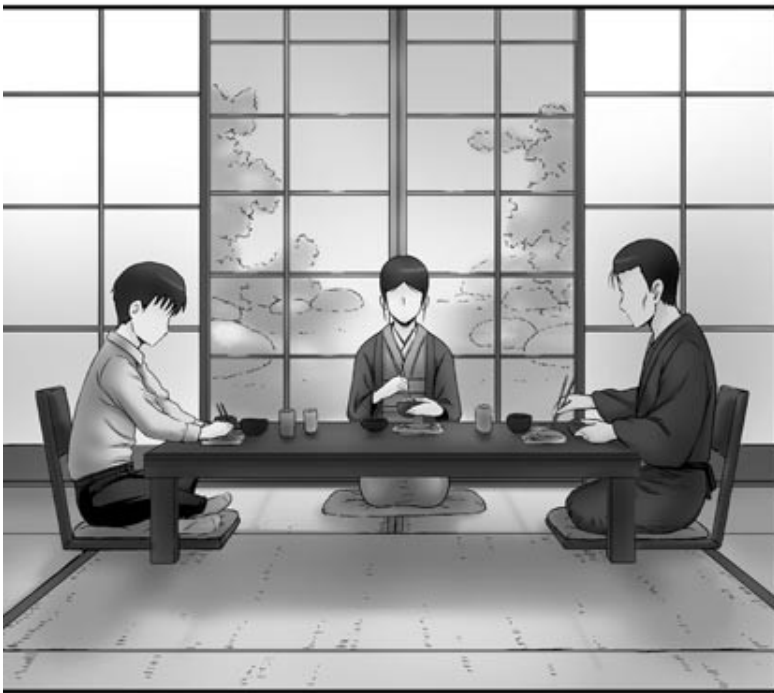
う...

あ...



う...

あ...



咲子と一緒に
なれる
世界に行こう…



きっといつか
隠れなくてもすむ
大きな世界へ

お前には
結婚してもらう

…え!?

大事な取引先の
娘さんだ

式は1週間後

これは
家のためであり
お前のためでもある

結局
逃げられ
ないのか!

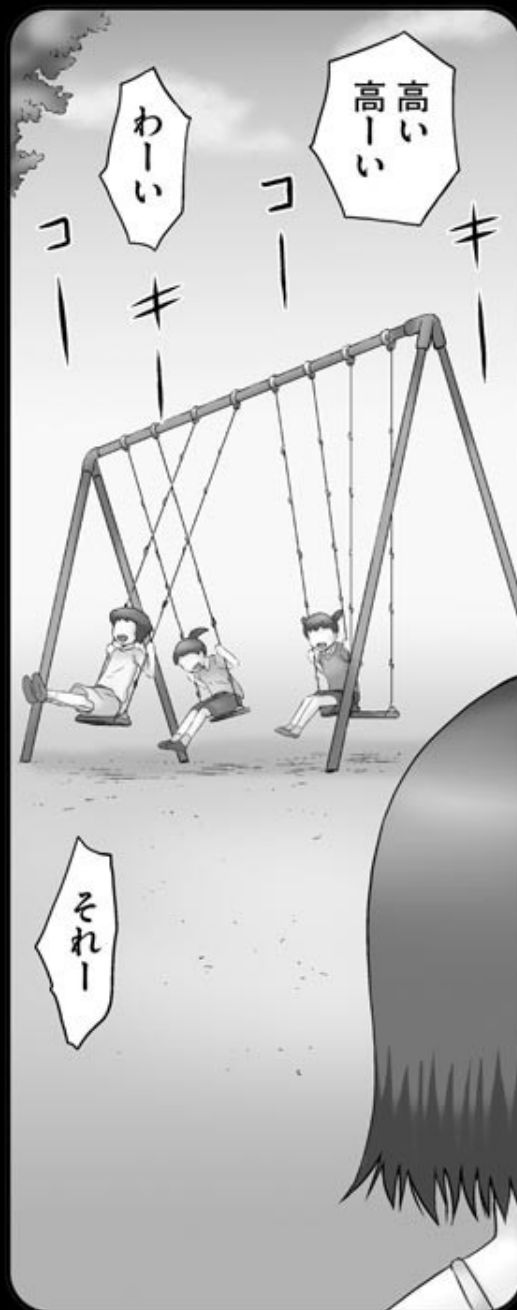
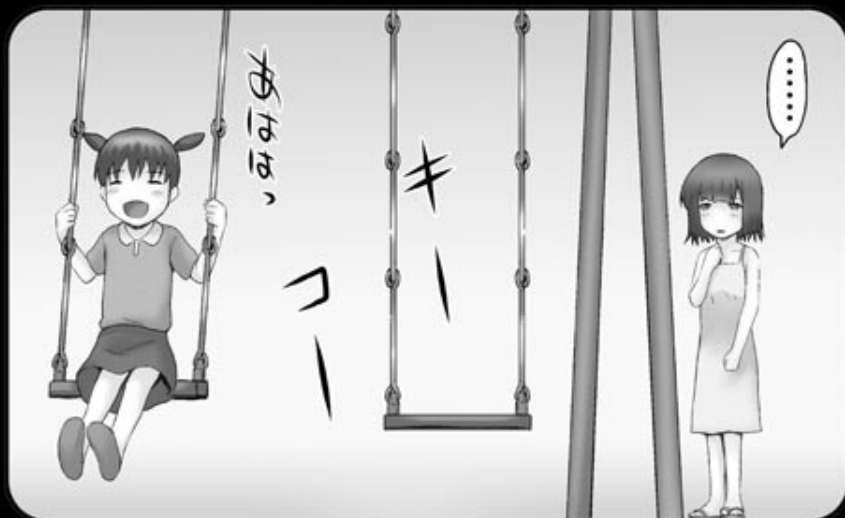
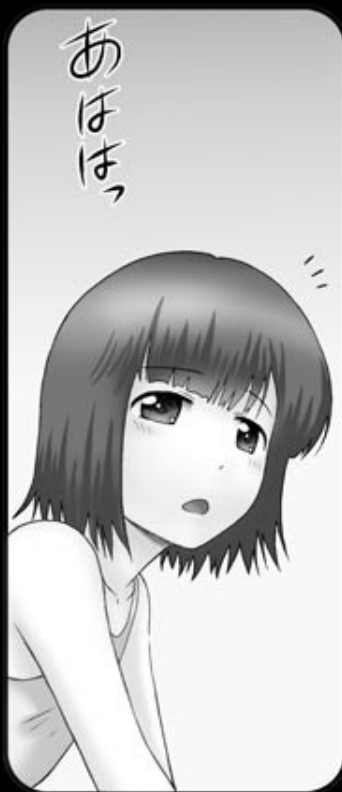
わかったな?

俺は無力だ…

…はい

千りん…

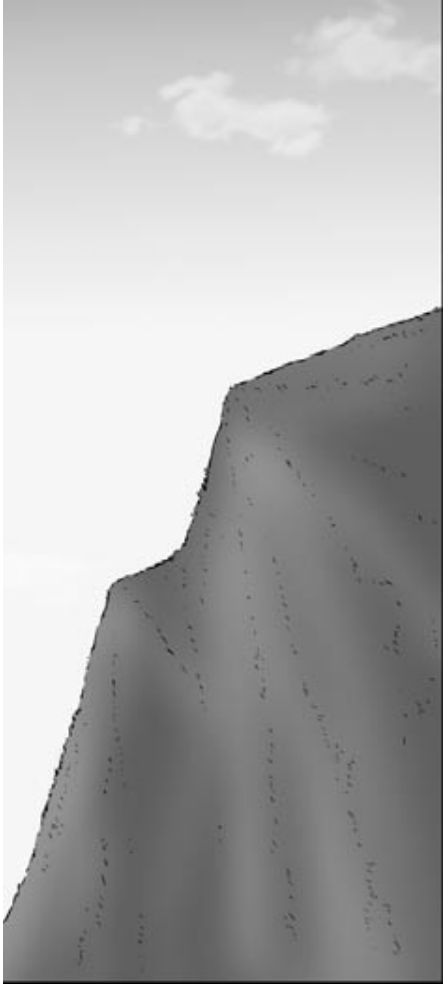












咲子……ごめん



うれしい



俺には何も言う資格がない……

咲子も知ってしまった



そして
式の前日

こんにちは
大智さんですか？

初めて対面した

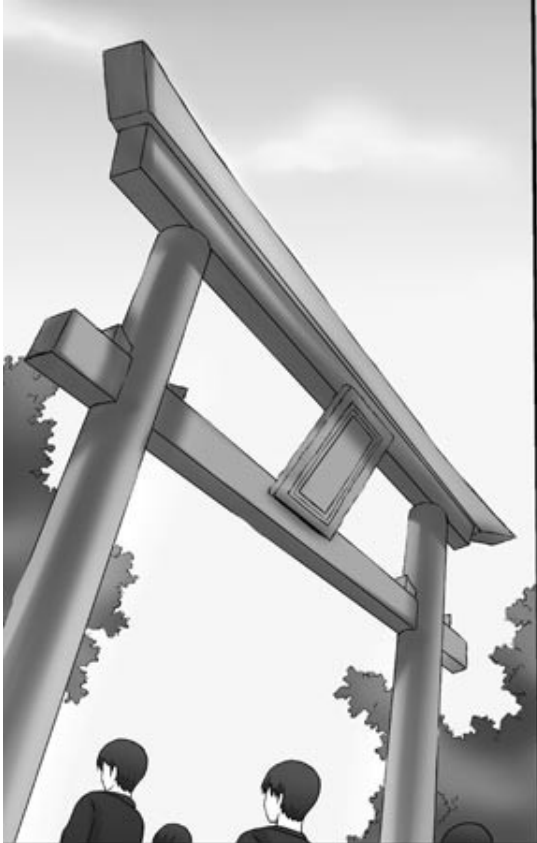
！

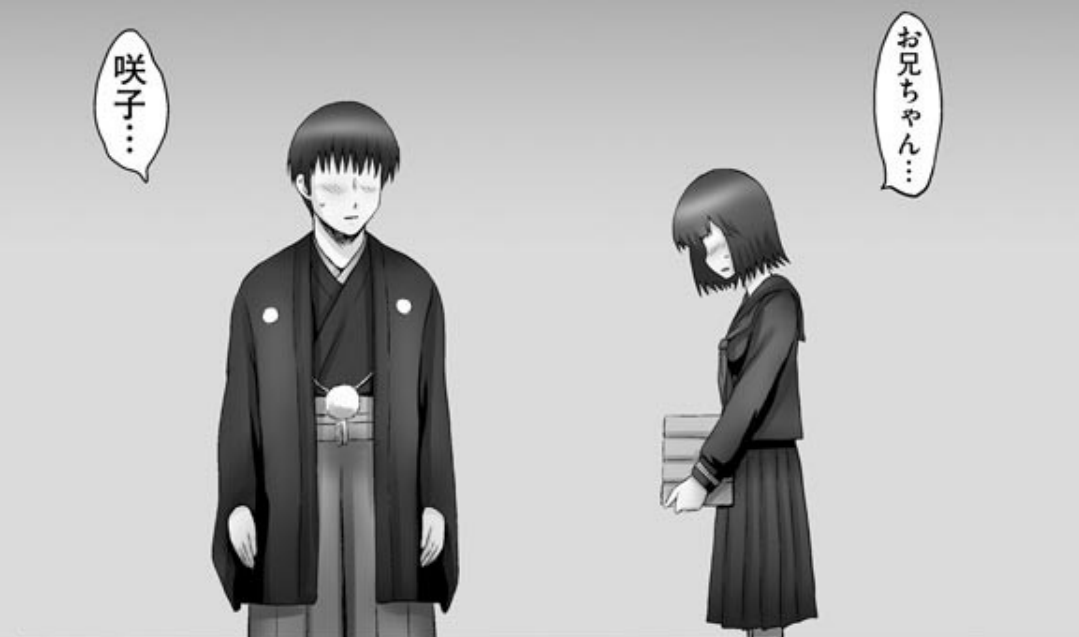


俺の知らないところで
物事はどんどん
進んでいく

取り残された俺は
ただ流されるだけ……







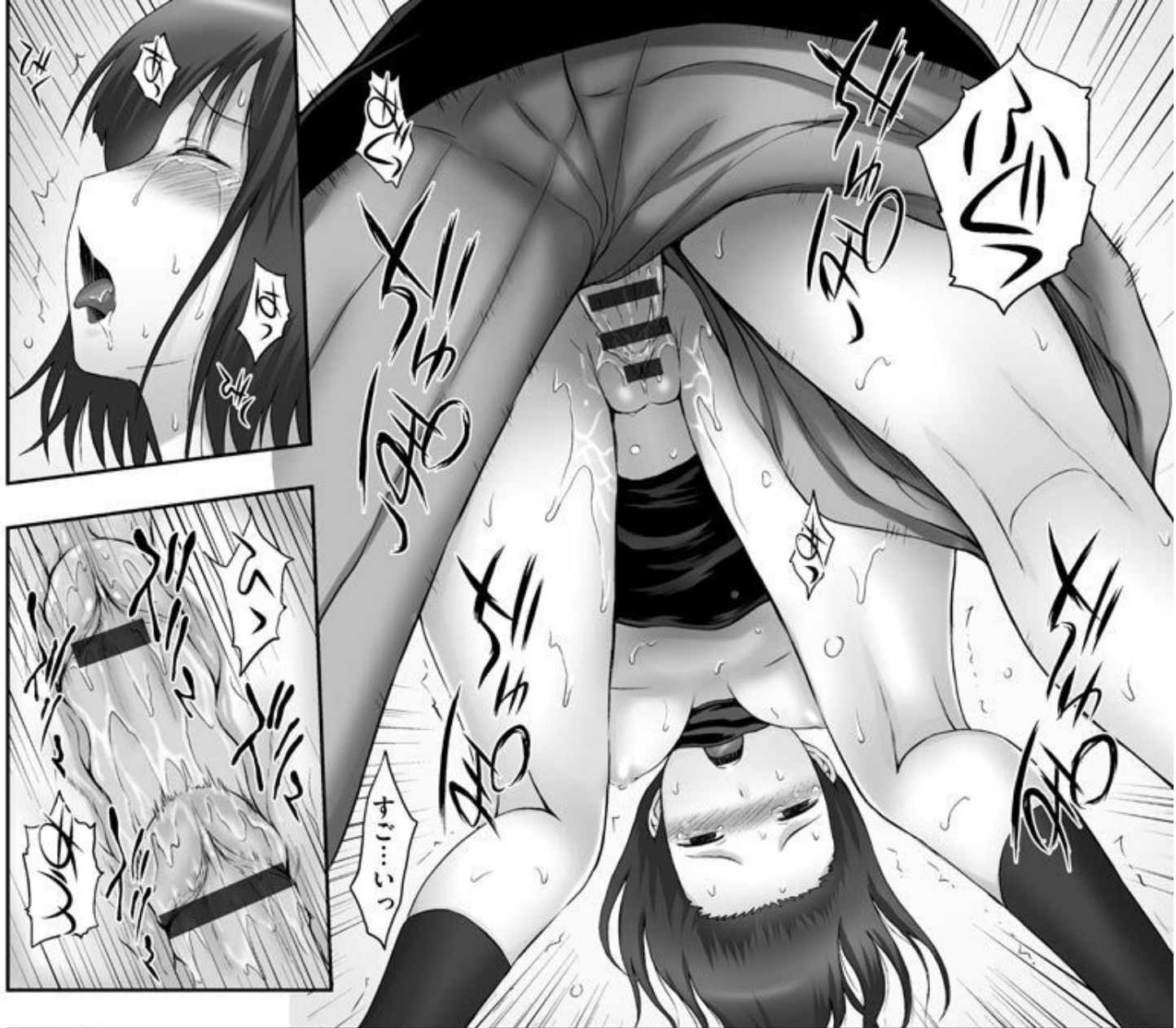




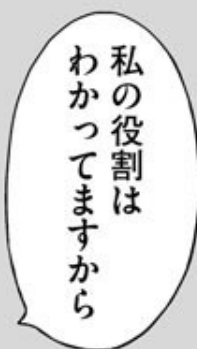
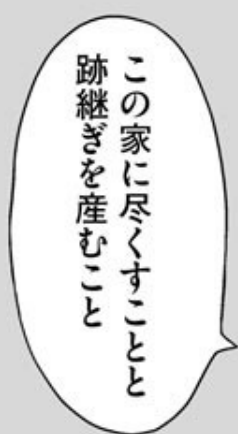














咲子はこの家に
来た時から食事は
女中さんたちと一緒に

家族とは
別だった…



風呂もトイレも
従業員用



寝る所も

すべて別…



こんなに
近くにいるのに

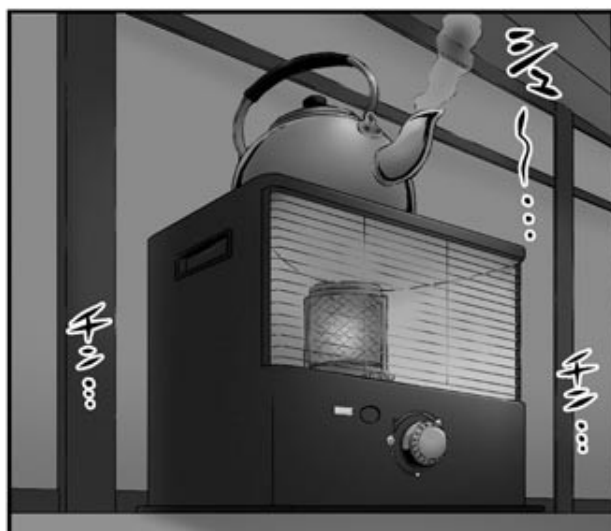
ずっと
遠い……



それでもやっと
近づくことが
できた

思ったのに……











な
腔内
に
く
だ
さ
い

大智さんの
子種を…

！



好かれるよう
努力します

なんでもします
ですから…



そんなに
家が大事か!?



それなら

望み通り…

あ!?



気持ち…いいっ

イクときは
遠慮せず



私の実家を
よろしく
お願いします

……



スッ...

...咲子!?



咲子...

咲子...

咲子なのか...?



咲子...

お兄ちゃん...

咲子っ!!









あんな
暗澹たる想い

息が詰まりそうだ



村を案内して
あげてください

ここはどんな
村なんですか？

…何もない
村です…

ふたりを近づけ
たいんたろうけど
…

そんなことしたって
何も変わらない

…はい



川や

橋の下

…それでも
あるといえは

咲子との
思い出ばかり



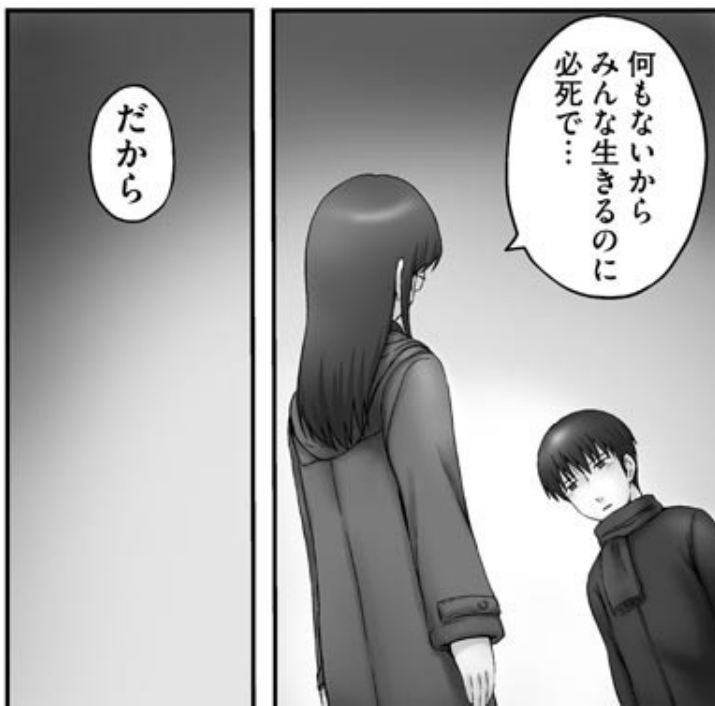
私の村も
何もない村
なんです…

……



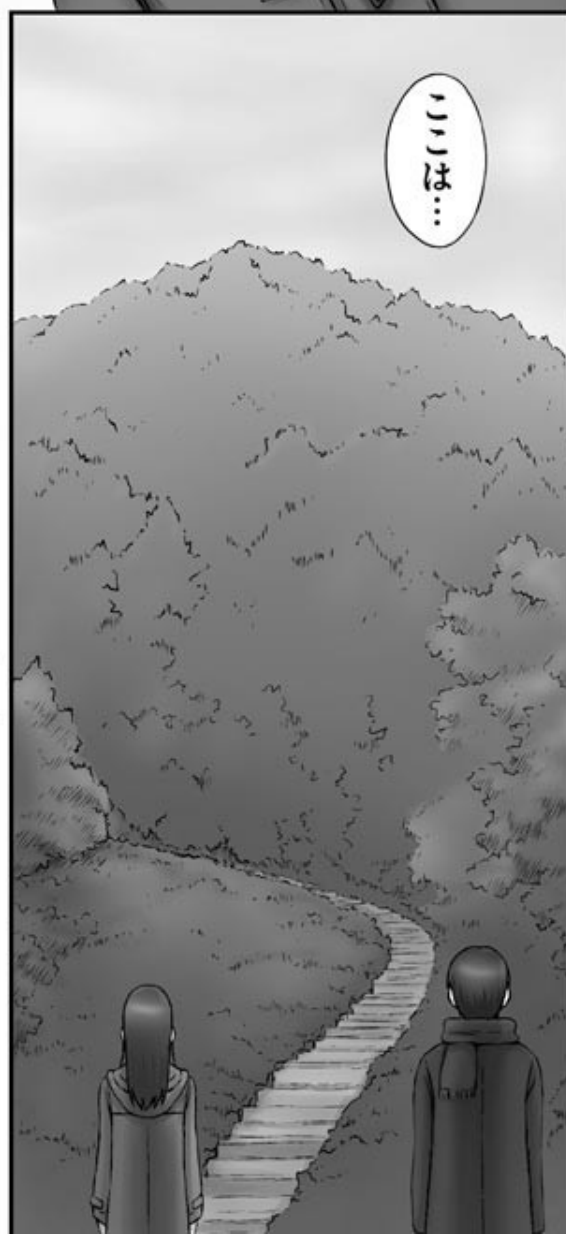
そして神社

その他にもいっぱい…



何もないから
みんな生きるのに
必死で…

だから







お兄ちゃん
は優しい人です

小さいころから
私をいつも
気にかけてくれて

いっぱい助けて
くれて

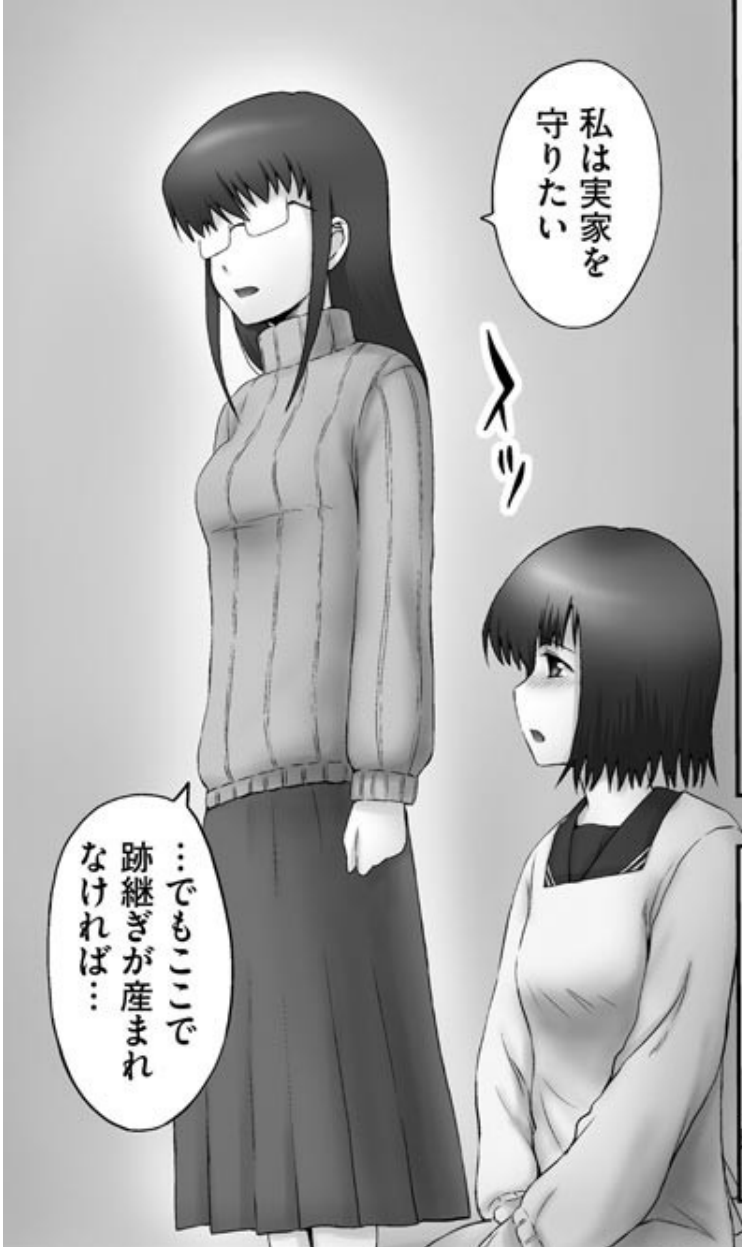
誕生日が同じなので
毎年一緒にお祝い
しています

私が
寂しがってるとき
必ず駆けつけて
くれます

お兄さんが
とても好き
なんです

それから…
!!

あ…
えっと…



私には時間がないんです

え…!?

私の兄は病弱で

実家を継がなければ
ならないのに
いつまで生きられるかも
わかりません…

だから私は
家を…
兄を守りたい
んです

夏美さん…

咲子さんも…
いろいろあったと
聞いています…

でもお互い
頑張りましょう

お話
ありがとうございました

私

最低だ…









もつと感じて
ほしい



咲子の膣内^{なか}
すごく温かいよ

俺のを全部
包みこんで
くれてる

お兄ちゃん…



辛いこと
すべて忘れて



お兄ちゃん…
私たちがつなるの？



でも…

先が…見えないよ…



お風呂?

家族用浴室

こんな...
激しいのっ

奥に...

大智さん...?

しゅごい...

もう...
ダメだッ

イクッ

ウッ



大智さ...!!

私がいなければ...









それは…俺が求めているものじゃ…ない

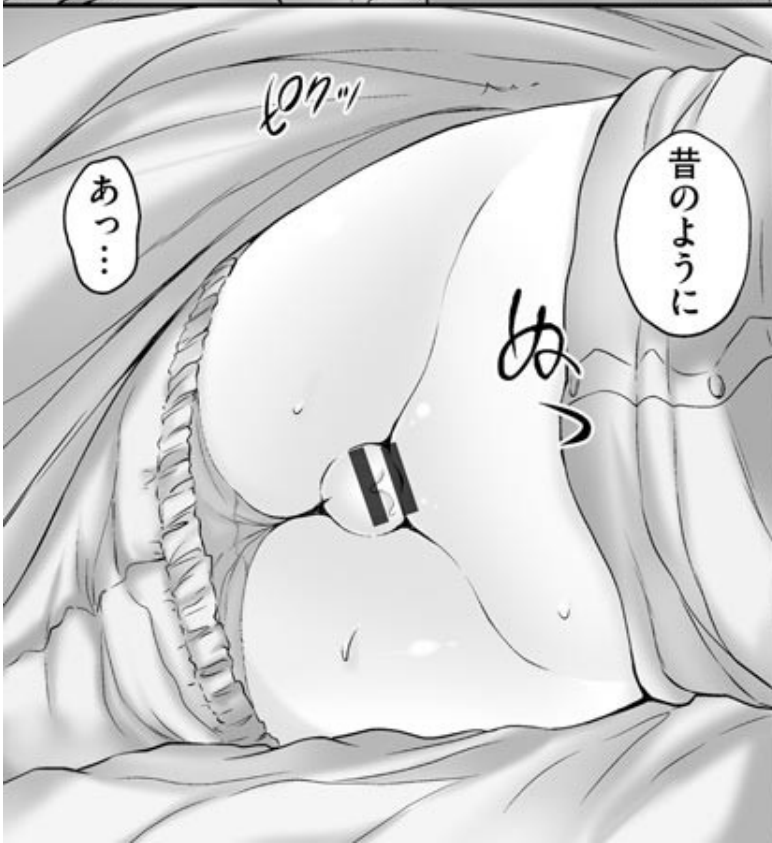


問題ない
でしょ？



……
愛してほしいとは
言いません

私は大智さんの
子を産み
大智さんは咲子さんと
秘密の関係を
続けたい……







優しくするべきじゃ
なかったのか？

一緒に遊んだり
笑い合ったりも
せず…



自分を殺して生きれば
よかったのか！

最初から俺たちは…





なのに…

どうして
私を置いて



いなくなつて
しまったの…



すごく悲しくて
私もお母さんの所へ
行きたかった…



でも
お兄ちゃんと
会つて

少しずつ
笑えるように
なつて



それでも時々
寂しくなつて

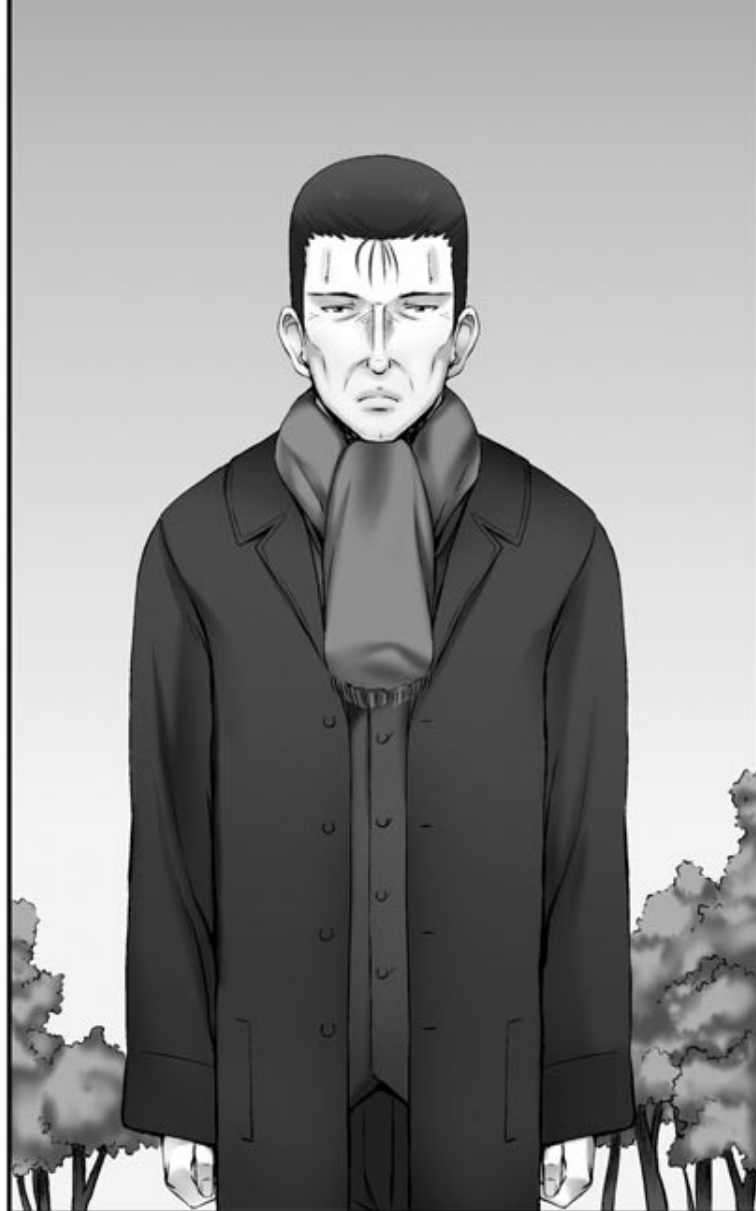
ここで
泣きながら
寝ちゃつて…



お兄ちゃんがよく
おんぶして

連れて帰つて
くれたっけ…

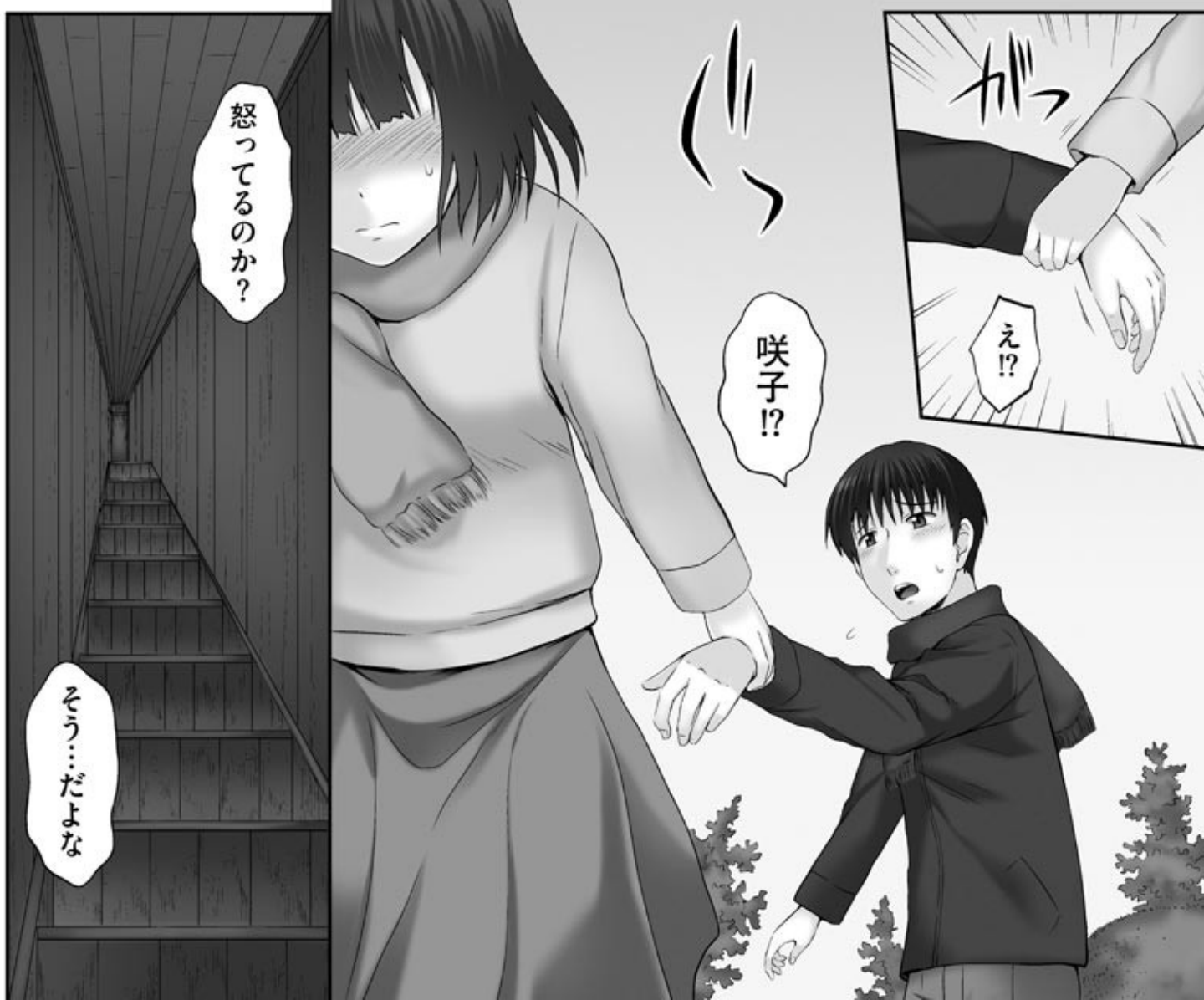


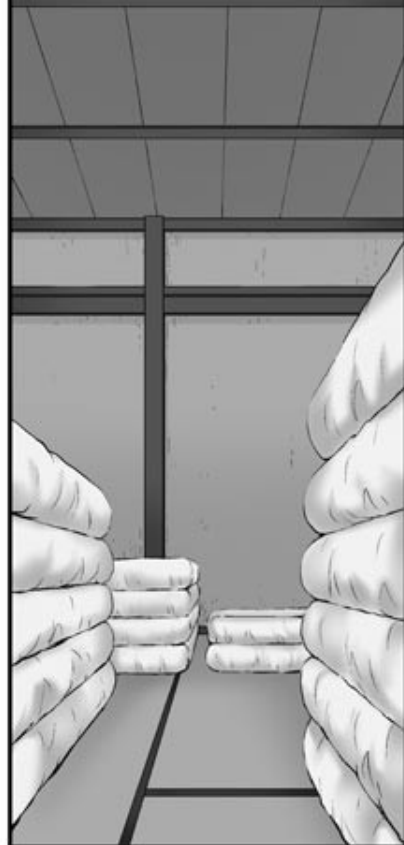






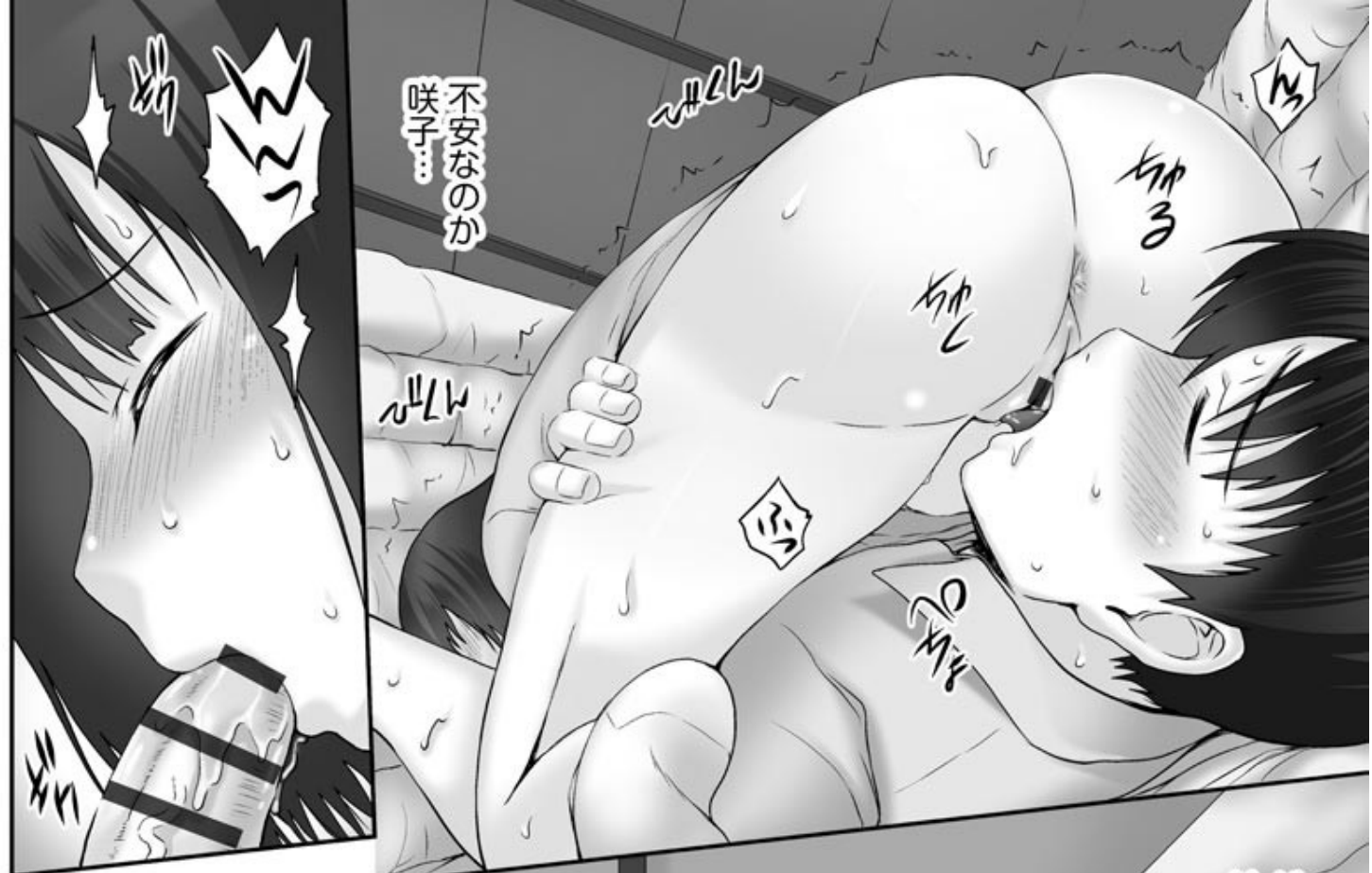
















締まるっ



お兄ちゃん

咲子ッ



いっぱい
注いでっ

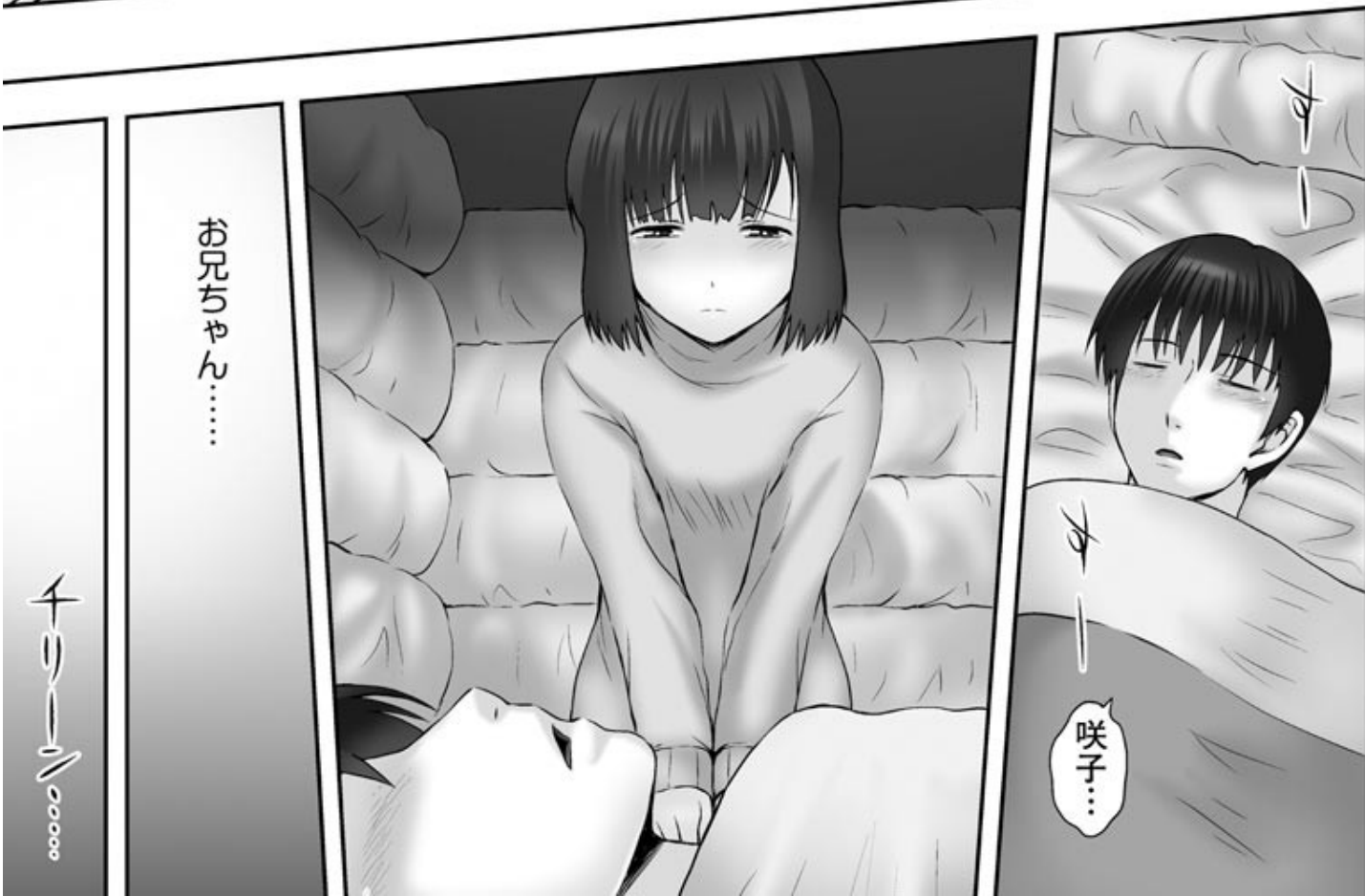
咲子ッ

来て
お兄ちゃんっ



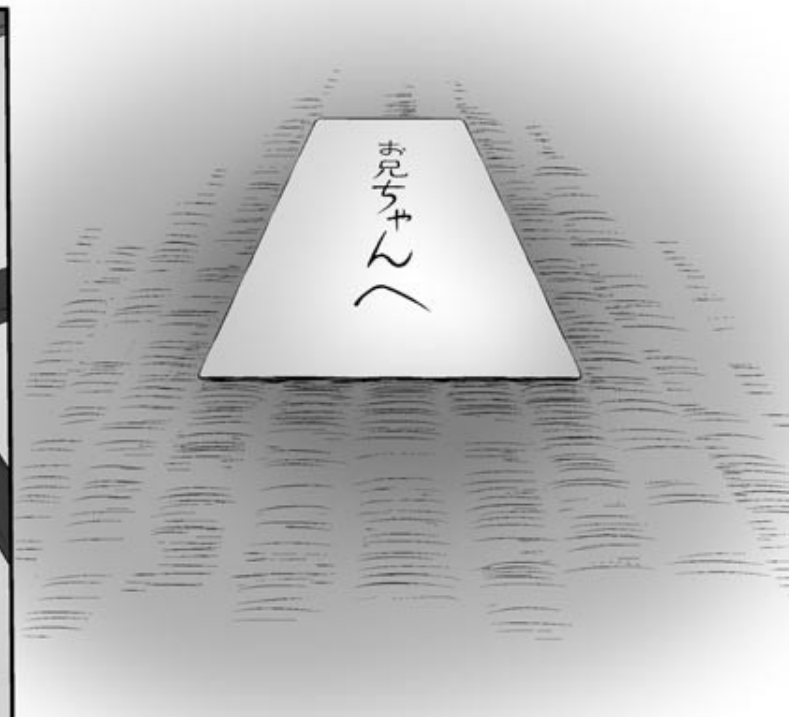
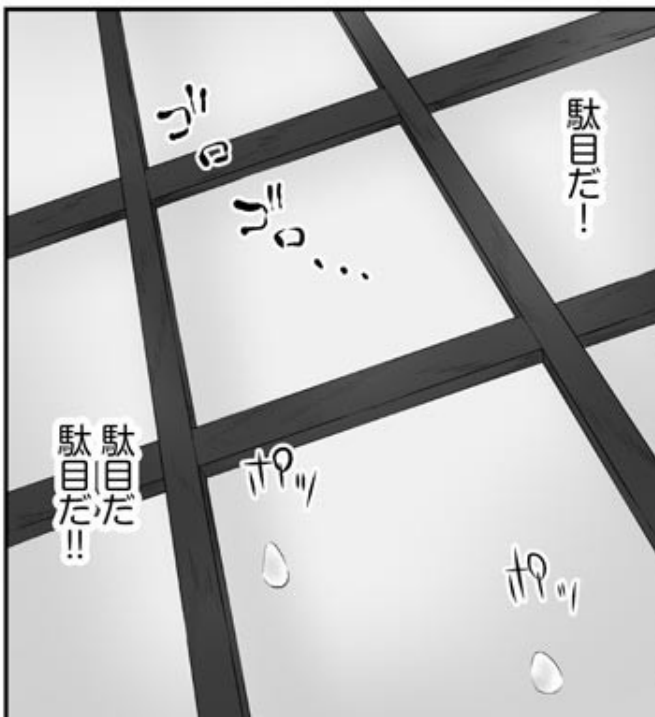
こんな...
激しくて...

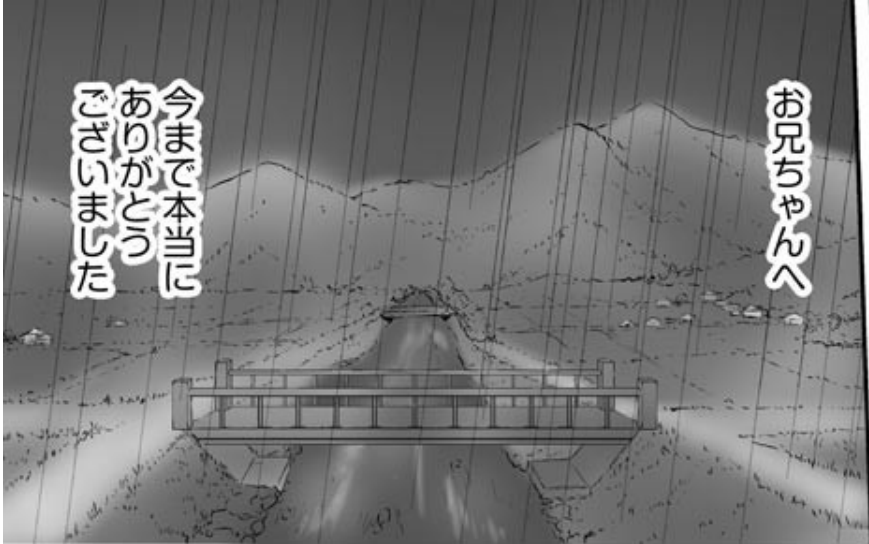
もう...





...手紙!!





お兄ちゃんへ

今まで本当に
ありがとうございました



咲子ーッ



でもこれ以上は
ここにはいられません

咲子ーッ

誰も幸せに
なれないから…



お兄ちゃんに出会えて
私は本当に
幸せでした



私は出ていきます
わがままを
お許しください
どこか遠くの町から
お兄ちゃんの幸せを
祈っています

咲子ーッ

咲子ーッ

どうかお身体^{からだ}に
気をつけて
どうかどうか
お元気で

さようなら

咲子



…その日
咲子は…
いなくなった……



もうどれだけの町を
探したんだろうか…

いなくなって
初めて気づいた

俺の方こそ
咲子に支えられて
いたんだ…

咲子のいない世界に
なんの意味があるのか…



もう…すべてが
どうでもいい…



咲子が出て行って
あそこまで
落ち込むとは
思いませんでした

そう…だな



行先に
心当たりは
ないんですか？

……
わからんな

この先が
心配です…

…うむ

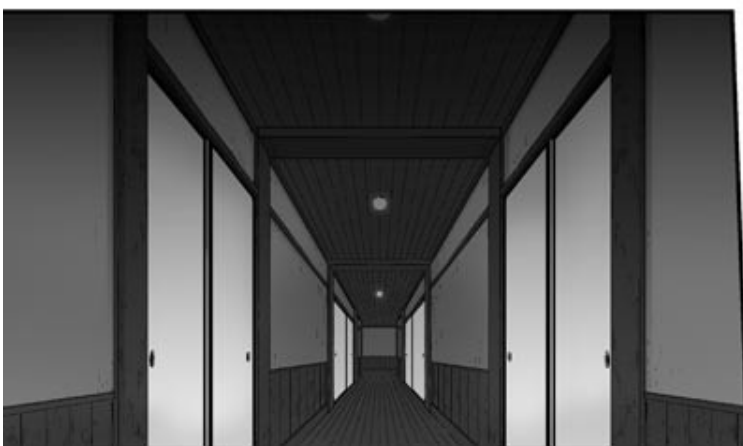












春彦さんと
夏美さん…

愛し合って
いるんですね

俺と咲子と同じ
特別な感情…

それを
感じたんです

…ッ!?

だから
俺と咲子の
関係にもあまり
驚かなかった…

……

行って
ください

俺のように
なってほしく
ないんです

ありがとう
……ございます

大智さん…

ずっとずっと
我慢して
きたのに...



すまない夏美
確かめたくて

え!?

家に無言電話が
掛かってきて...
すぐに夏美だと思った



それは...

夏美が苦しんでる
そう考えたらもう
じっとしてられ
なかったんだ



お兄ちゃん...

ずっと
会いたかった
ひと時も忘れ
られなかった...

許してくれ
夏美...



お兄ちゃん
.....

私もずっと
会いたかったよ



夏美っ







すごい
擦れてるっ

すごい
突き上げてくるっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

お兄ちゃんっ

夏美ッ

もう
イキそうだっ

気持ちいいっ



お兄ちゃんの
頂戴っ!!

夏美
—ッ



このまま

夏美…



外に射精さなきや

いっのっ

え!?











ん?

お兄ちゃん…

そうだな…

そうかも知れないな

ぐっ

ん

ふたりで暮らせるのかな...

私たちのこと 誰も知らない ところへ行ったら



でも
今の俺たちには
まだ……

そう……だね

早く……
来ると
いいな

ああ……

きつと
来るさ

















まったく
バカげた
話だ

……



向こうは
なんとしても
連れ戻すと
言っていたが

そういう
問題ではない



あの家はもう
終わりだな



俺は夏美さんたちに
勇気をもらった

…咲子



大智には
新しい嫁を
用意…

咲子…
俺はずっと
止まっていた



大智!!
聞いてるのか?

父さん
母さん



どこかで
諦めていたのかも
しれない

でも…

今まで
育ててくれて
ありがとう
ございました

大智…？

でももう
お終いです

さようなら

もう甘えは
しない

こつして俺も
この地を去った

5年後





咲子…

お兄…ちゃん



元気に…
してたか？

…うん

そうか…



ついに
見つけ出した…

ずっとずっと
探し求めた…



…ッ!?

ママ
大丈夫?

泣いてるの?

…うん
大丈夫だよ

…そうか

そうだよな

もう5年だもんな…

咲子…

いい人…
見つけたんだな

私たちの娘だよ

…ううん
違うの

この子はね











咲子の匂い

咲子のぬくもり

あ



すべてが
懐かしくて
愛おしい

俺の5年間の
苦労なんて全て
吹っ飛ぶ

ハァ

ハァ



守るっ!!



これからは俺が

もう
離さない

めい



きゅん

きゅん

きゅん





でも咲子に比べたら
俺の苦労なんて
なんでもない

そんなこと
ないよ

ありがとう
お兄ちゃん

咲子...

咲子

お兄ちゃん

一緒にいられることが
どんなに幸せか

ん

ん

う

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

この瞬間が

ん

ん

ん

だけど
今ならわかる

あのころは
本当にわかって
いなかった

とてつもなく
掛け替えのない
時間だということを



実家は他人の手に
渡ったと噂で聞いた

両親がどこに
行ったかも知らない

だが今の俺には
関係ない

ここ
どこお？

ここはね
パパとママの
大切な場所だよ

でもね
ここに来るのは
今日で最後
なんだ

さいごお？

あの日々は
過ぎ去った思い出

もう
立ち止まらない

これからは
振り返らず

前を向いて
3人で

新しい人生を
歩んでいこう



おめでとう
咲子



おめでとう
お兄ちゃん

チリン

◆END◆

あ と が き

この度は単行本「お兄ちゃん切ないの～淫香のぬくもり～」を手にとって頂きありがとうございます。

電子配信と同人誌で発表していた「お兄ちゃん切ないの」と「姪っ子しゃぶり」を楽楽出版社様より単行本として出版して頂くこととなり感謝しております。

最近では電子が主流となってきていますがやはり手で厚みを感じられる紙の本を出して頂けるのは嬉しいですね。

本屋に並んでいるのを見るとニヤニヤしてしまいます(笑)
もちろん電子版でもかさばらず手軽に読んで頂ければ有り難いです。

収録作品は相変わらず私が好きな田舎を舞台にしています。

冬の田舎を舞台にした兄妹の切ない物語と

夏の田舎を舞台にしたおじさんと姉妹の物語。

閉ざされた世界での背徳感がうまく出せていて

楽しんで頂けたなら幸いです。

エロにとって重要な「背徳」というキーワードを作品作りに

盛り込みつつこれからも頑張っていこうと思います。

よろしくお願い致します。

まふ





まだかな
まだかなあ♪

.....

早く来て
ほしいなあ

ひなた...

またいっぱい
遊んでもらうんだあ

お姉ちゃんも
楽しみ？

姪っ子
しゃぶり

夏になり

私は...

またあの人がやって来る



フウ...

スリ...



とある
徹おじちゃん♡

徹くん
来たのね

ああ
かおり
香織義姉さん

やあひなちゃん
久しぶり

また大きく
なったねえ

えへへ♡

これお土産です

いつも悪いわねえ

学校が休みの間いつも
お世話になってるから

ここは徹くんの実家なんだから
遠慮しなくていいのに

今
お義父さんとお義母さんは
仕事出てるから

兄さんも
仕事？

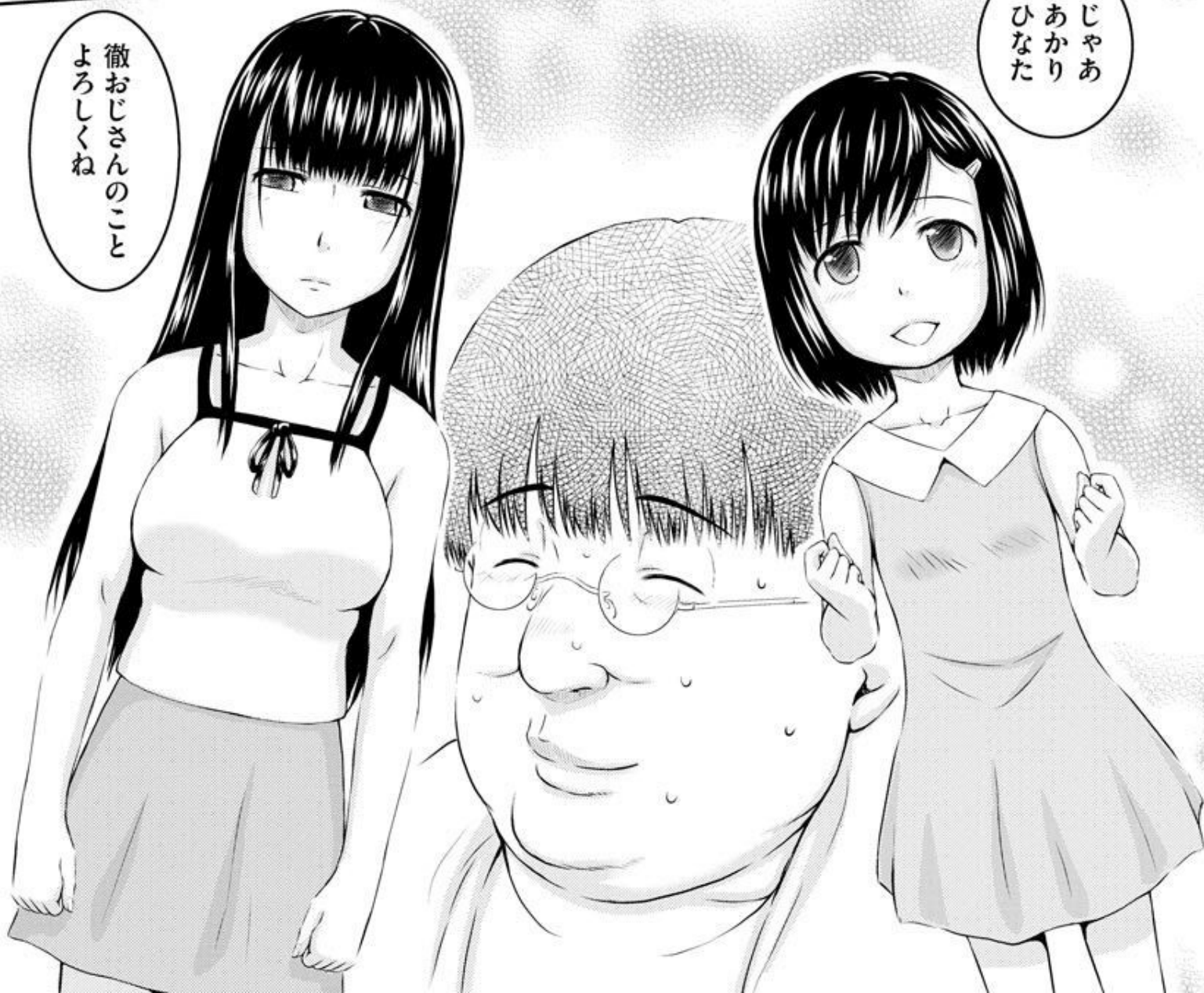


ええ
私もすぐ仕事に
戻らなきゃ
いけないから

上がって
休んでてね

じゃあ
あかり
ひなた

徹おじさんのこと
よろしくね



じゃあひなちゃん
一緒に外に遊びに
行くかい？

え!?
もういいの？
いく――

そっか
あかりちゃんは
えらいなあ

しっかりしてて
いつも感心
させられるよ

あかり
ちゃんは？

私は家事を
やるから……
留守番してる

お母さん似だねえ

じゃあ
ひなちゃん
行こうか

うん

徹おじさん……

私は
知ってるんだよ

あれも夏の日だった



聞こえてきた
あの声…

?

いい…

ん…



お母…



んあつ
すごいっ

いいわっ
徹くんッ

お母さん…

もつと
もつと突いて

メチャクチャにしてえ

すごく
気持ちいいのっ



なかなか
帰ってこない
お母さんを

山の中まで探しに
行った…そして

気持ちいいっ

香織義姉さん
すごくいいよっ

いっつも
自分だけ
先にイッて
終わらせる

自己中な
あの人より

すごい
締めつけてくるっ

でも兄さんに
悪いなあ
こんなこと
しちゃって

私をいっぱい
喜ばせてくれる

徹くんの長持ち
デカちゃんぽが

素敵なの
〜!!

それは
言わないでえ

徹おじさんは
お母さんを…

そして今は…



ああ…
いいよ
ひなちゃん

そこっ
そのカリ首の
ところいいよ



上手に
なったねえ
ひなちゃん

本当!?
うれひい



うれしいなあ

初めて舐めて
くれた時から
すごい上手になってるよ



徹おじちゃんが
いない間も
アイスやバナナを
徹おじちゃんの
おちんちんだと思って

いっぱい練習
したんだあ♡





あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

なかに
膣内にい

徹おじひやんのペロ

気持ち
いいの

入ってるう

いっ
♡

らめえ
♡

お豆え
♡

いっ
♡

あゝあゝあゝ

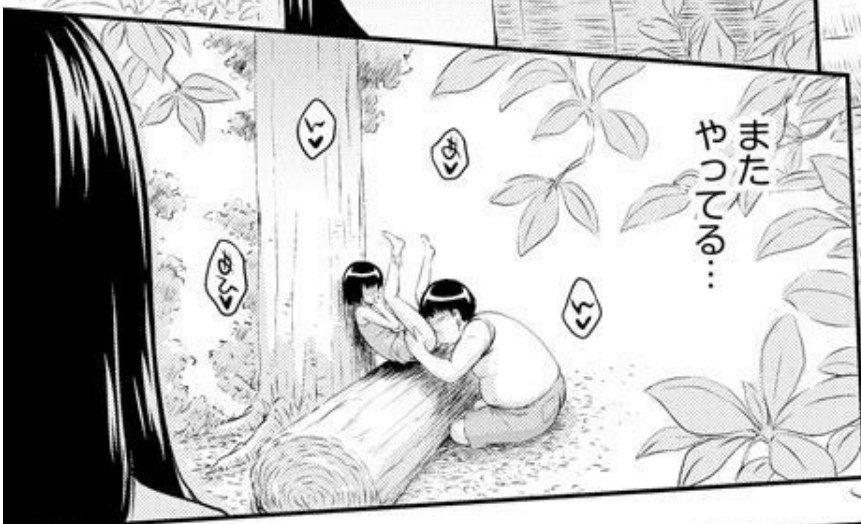
あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ



やっぱり



また
やってる...



なんで...
気持ちいい♡
なんでそんなに
うれしそうなの...



徹おじちゃんのペロ
気持ちいいよ♡

からだ
身体
震わせて

もっと
ぬるぬる
舐めてえ♡



顔を
真っ赤にして

ああ

やっぱり
自分でするより
気持ちいい♡



ああ
イクッ

徹おじひゃんのお口でイッひやうう♡

ヒッ...

あ...

ヒッ...

ヒッ...

グッ♡

グッ

グッ♡

ひなちゃん
とっても
かわいかったし

マン汁も
とってもおいし
かったよお

挿れてっ
徹おじちゃんの
おちんちん

H<<<♡

徹
おじちゃん♡

あれ？
また僕の
おちんちん

大きくなっちゃった

どうしよう
ひなちゃん



ひなたの
おまんこに挿れて

またズポズポ
してほしいのっ

すごく
気持ちいいからっ



ひなちゃん

カチカチ







むふう
膨らみかけの
かわいいおっぱい

美味しい

あー
締まるう

やー

やー

やー

いいよお♡

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

キ
キ
キ

キ
キ
キ





今年も
毎日のように

気持ちいい

いい

ん

ん

ん

ん

ひなたと
徹おじさんは…

もっとして♡
もっと♡

それだけじゃなく

また
お母さんにも…



のぞいて
見ちゃった時から
忘れられない

徹おじさんの
アソコ…

考えたく
ないのに
考えちゃって

汚らしいものだって
わかれば大丈夫

そして私が
おかしくなった
お母さんとひなたを

助けなきや

このままじゃ
おかしく
なっちゃう

だから側で
じっくり見て











動かして

スッ

スッ

しっかり
確かめて

あ

握っちゃった

ああっ



その調子
あかりちゃんの
柔らかい手

すごい
熱くて
硬くて

何か
先っぽから
出てきた…

気持ちいいと
出てくるんだよ

ドク

あかりちゃんは
どうかなあ？

ドクドク
いってる…

気持ち
いいよお

いやっ…

やめてッ



そんなこと
ないっ

やめっ…

むふふ
身体は
正直だなあ

だめっ

いやっ

やっぱり直接が
いいかなあ

湿ってるねえ

うそっ

えっ!?

こっちも
刺激すると
もっと濡れるかな

まっ…







もう我慢
できないのかい？

それなら
脱ぐところを
見せて
ほしいなあ

私：
おかしいよ

ほら

自分でこんなこと...



スル...

なんで...

なんてかわいい
ツルツルおまんこ
なんだ

ぬる...

あかりちゃん

ぬる...

とても
おいしそうだよ

私...



恥ずかしい

恥ずかしいのに



おお...

糸引いてるう

じゃあ次は
拡げて見せて

え…
拡げる!?

こんな
恥ずかしい格好

死んじやう

寝転んでね

私…絶対
おかしく
なってる…

あかりちゃんの
隠れた秘部を

いやあ…

いやっ…
そんなに顔
近付け
ないで

さあ
見せて
ごらん

ああ…

全部
見られちゃう

きれいな形と色
そしていい匂い

それが
濡れて光って
とても
いやらしい

見ないでえ

じゃあ
また気持ちよく
してあげよう

素直にできた
ご褒美だよ

ご褒美

欲しい





あ...
こんな

はっ

徹おじさんの
舌がすごい動いてる

私の気持ち
いいところ

いっばい
舐めてる

気持ち
いいよお

かわいい
お尻

尿道ッ

うまいうまい

じゃあ
そろそろ

ああ…

入ってくる

あ…

お母さんや
ひなたみたいに

入って…

一番の
ご褒美を

私の初めて…!!

あ…あ…

奥まで
ギツチリ

あ…あ…

あげよう

あ…あ…

あ…

キツキツの
あかりちゃん
おまんこお

気持ちいい〜

もしかして
初めてだった
のかい？

あかりちゃんの
処女まんこ
いただきかなあ



腰が
止まらないんだあ

激...しい
だめっ

あかりちゃん
しょーがないよ

あかりちゃんのおまんこが
気持ちよすぎるから

NO

気持ちいいよ
あかりちゃん
たまらんよお



すくすくして
壊れるう



うぐう 膣内が
プリプリイ
気持ちいいっ



あかりちゃん

どうだい

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

何も怖がる
ことはない

素直に
なれば
こんなに
気持ち
いいんだ

これからいっぱい
気持ちよくなれるよお

…徹
おじ…さん

決めるのは
あかりちゃんだ

ぐわ



もう...

あー...

あー...

あー...

んあー

なに...

イクよっ

僕も

くほうっ







RK COMICS CYBERIA SERIES

お兄ちゃん切ないの～淫香のぬくもり～

2020年3月20日 初版第一刷発行

著者 ^{かげろう} まひろの影郎

発行人 小澤 誠昭

発行所 株式会社 楽楽出版

〒102-0082

東京都千代田区一番町29-6

TEL 03-3222-6516(編集部)

TEL 03-6865-6162(出版営業部)

www.rakurakushuppan.com

印刷所 大日本印刷株式会社

本書の無断転載・複写・上演・放送を禁じます。

また、本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。

本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても、著作権法上認められておりません。

本書の掲載作品はすべてフィクションです。
実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

©MAHIRUNO KAGEROU 2020 Printed in Japan
ISBN978-4-86704-420-9

